

AUTO DOOR MIRROR CONTROLLER

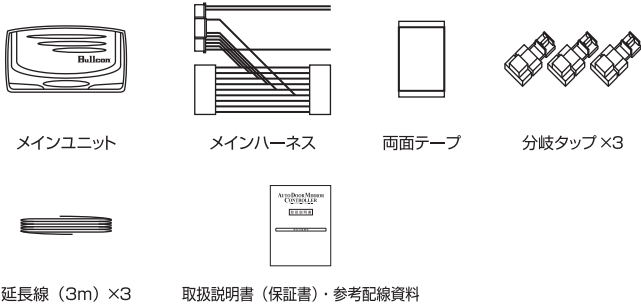
オートドアミラーコントローラー

トヨタ車用 【ADM-103】

取扱説明書

この度はブルコン「オートドアミラーコントローラー」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取り付けの際には適合をご確認の上、作業を行ってください。

商品付属構成



製造・販売元 **フジ電機工業株式会社**
<https://www.fuji-denki.co.jp>

本社：〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880
サービスセンター：〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530
TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

製造・販売元

フジ電機工業株式会社

本社：〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880
サービスセンター：〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530
TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187



はじめにお読みください

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただき、お客様や取り付け時の危害や損害を未然に防止する為に、色々な注意事項を表示しております。
又、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示内容は下記の様になっておりますので内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

| | |
|----|---|
| 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

警告

以下の警告文を無視し、使用を続けると火災・故障・事故の原因となります。

- ▼本製品を分解したり、加工・改造等しないでください。
- ▼本製品のお取り付けを行う際は電源の極性(+)・(-)を間違えない様ご注意ください。
- ▼電源コードを傷付けたり、無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工等加えないでください。
- ▼本製品はDC+12V・マイナスアース専用です。指定以外の電圧では使用しないでください。
- ▼本製品は適合車種以外にはお取り付け出来ません。必ず適合車種をご確認ください。
- ▼本製品のお取り付けを行う際は電源側(+12V)のコードが車体の金属部分に触れない様、ご注意ください。
- ▼本製品に水が入らない様にしてください。万一水が入った場合は、電源を抜き速やかにご購入店へご連絡ください。
- ▼本製品から煙が出たり異臭・異音がする場合は、本製品の使用を中止し直ちに電源を抜き安全確認の上、修理をご依頼ください。
- ▼本製品の配線、お取り付け及び使用方法を誤ると車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがあります。

注意

以下の注意文を無視し、使用を続けると誤作動・故障の原因となります。

- ▼本製品は違法改造車及び整備不良車等へお取り付けしないでください。
- ▼本製品のお取り付けを行う際は他機器に影響を与えない場所に設置してください。
- ▼過度の熱や水等が本製品に影響を与えそうな場所への設置はしないでください。
- ▼本製品のお取り付けを行う際はメインユニットは確実に固定してください。
- ▼本製品の誤ったお取り付け及び使用方法による事故等に関しましては、当社では一切責任を負いませんので予めご了承ください。
- ▼本製品のメインハーネスを抜き差しする際は必ずコネクターを持って作業を行ってください。コードを引っ張るとコードが傷付き、ショートする恐れがあります。
- ▼車両のバッテリーが弱っている状態及び車両に不備がある場合は本製品をお取り付け又は使用しないでください。車両機器及び本製品に影響を与える恐れがあります。

保証規定

- 保証期間内に説明書に従った正常な使用状態で、万一故障が生じた場合は無償で修理又は交換致します。
- 保証期間内であっても、次の様な場合は有償修理となります。
 - ・保証書のご提示が無い場合。
 - ・所定事項の未記入及び販売店名の記入、又は捺印が無い場合。
 - ・購入日の未記入、又は字句を書き換えられた場合。
 - ・製品取扱上の誤り及び使用方法の誤りによる破損、損傷に起因する故障。
 - ・誤配線、誤接続等の不注意による破損、損傷に起因する故障。
 - ・火災、その他天災地変により生じた破損、損傷に起因する故障。
 - ・不当な修理及び改造に起因する故障。
 - ・人為的な過失、又は事故により生じた破損、損傷に起因する故障。
 - ・故障の原因が本製品以外にある場合。
 - ・誤液品の場合。
 - ・消耗品品の交換(付属部品等)。
 - ・その他上記項目に準ずる場合、及び弊社が保証不可能と判断した場合。
- 保証期間終了後は有償修理となります。
- 保証書のご提示があっても修理、点検時の代替、交換は致しかねます。
- 以下の様な場合は一切の保証を致しかねます。
 - ①本製品が原因で生じた付随的損害や傷害。
 - ②本製品の修理、点検、交換時に発生する工賃。
 - ③故障、修理や交換等により車両が使用出来なかった事による損害。(電話代・レンタカー代・レッカー代・宿泊代・交通費等)
- 保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- 保証規定は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

アフターサービス

- 修理や点検を依頼される場合は、保証書の全ての項目にご記入の上、故障の内容をお買い上げの販売店にご相談ください。(どの様な症状なのか、いつ頃から等出来るだけ具体的に詳しくお知らせください。)
- 製造・販売が終了した製品については、修理をお受け出来ない場合がありますので予めご了承ください。
- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※本製品の保証期間はご購入時からの起算になります。本製品のの一部又は全てを交換された場合、保証期間は交換時からの起算にはなりませんので予めご了承ください。
また、購入日記載の書類(レシート、納品書、販売店からの発送メール等)がある場合は保証対象となります。

お取り付けの前に

警告

- ▼取り付け方法図中の●部分及び常時電源線は配線後、必ずビニールテープ等で絶縁処理を行ってください。又、配線しない線も必ずビニールテープ等で絶縁処理を行ってください。ショートによる火災、感電、故障、事故の原因となる恐れがあります。

注意

- ▼本製品のお取り付けは取り付け技術のある販売店で行ってください。
- ▼本製品をお取り付けする際、車両側の配線を検出する時は必ずサーキットテスターを使用し、検電器は絶対に使用しないでください。万一、お取り付けする際に検電器を使用した場合、車両側の制御機器等に異常又は、破損や故障等が起こりましても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ▼運転の差し支えになる様な配線は行わないでください。事故の原因となる恐れがあります。
- ▼エンジン始動・停止がプッシュボタン式の車両にお取り付けされる場合は必ず OFF・ACC・ON の状態を車両取扱説明書でご確認していただき作業を行ってください。
- ▼本製品のお取り付けは必ずエンジンを停止した状態で行ってください。火災、感電、故障、事故の原因となる恐れがあります。
- ▼本製品をお取り付けする際は他機器に影響を与えず運転に支障の無い場所に設置してください。本製品が正常に作動しなかつたり車両機器に影響を与える恐れがあります。
- ▼万が一、車両に異常が起きても弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

— パワーウインドシステムのリセットについて —

本製品のお取り付けの際、パワーウインドユニットの制御ハーネスを引き抜く場合があります。この場合、一部の車両ではパワーウインドのオート機能が働かなくなる恐れがありパワーウインドユニットのリセットを行う必要があります。又、バッテリーを外しても同様の症状が発生する場合がありますのでリセットを行ってください。

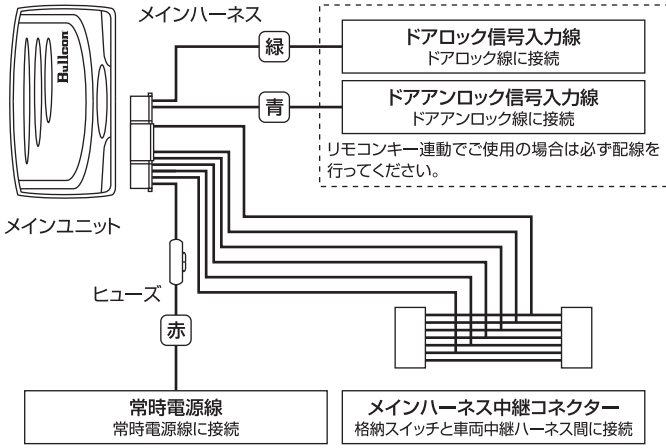
- ・操作は該当するドアのパワーウインドスイッチで行ってください。
- ・同時に複数のリセット操作は行えません。
- ・長時間スイッチ操作を行うと車両保護の為窓ガラスが動かなくなり一時的にオート作動が働かなくなる場合がありますのでこの場合は、しばらく時間を置いてから再度リセット操作を行ってください。

- ①エンジンを始動し、パワーウインドスイッチで DOWN 操作を行い窓ガラスを完全に閉じます。
- ②パワーウインドスイッチで UP 操作を行い窓ガラスを完全に開け、そのまま UP 側に 1 秒以上維持します。
- ③パワーウインドスイッチから手を放した時に窓ガラスが下がらない事を確認してください。
下がる場合はパワーウインドユニットの制御ハーネスを引き抜いて 10 秒以上経過してから再度差込んだ後、上記①～③の作業を行ってください。
- ④上記①～③の作業を行ってもリセットされない場合は、パワーウインドスイッチで UP 操作を行い窓ガラス全開後もそのまま UP 側に 12 秒間維持してください。

使用上のご注意

- ▼メインユニットのディップスイッチ設定を変更する際は必ずメインハーネスを引き抜いてから設定変更を行い、設定変更後にメインハーネスを差し込んでください。
- ▼エンジンスターター・ターボチャージャー装着車は、エンジンキー連動設定でご使用ください。
- ▼車両の所有者以外の方が本製品を使用する場合も必ず取扱説明書をお読みください。
- ▼誤配線や誤った使用方法での破損、損壊、損傷、事故等につきましては弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

配線概要

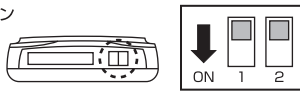


連動設定

取り付けを行う前にドアミラーの格納 / 復帰の連動設定を行ってください。

メインユニットディップスイッチ（出荷時は全て OFF 設定）

※ディップスイッチの設定変更を行う際は必ずエンジンキーを OFF にしてから行ってください。



<リモコンキー（スマートキー）運動設定>

ドアのロック・アンロックに連動してドアミラーの格納 / 復帰を行いたい場合、2番を OFF に設定してください。

取り付け手順は「取り付け方法」A → B → C → D の順になります。



<エンジンキー運動設定>

エンジンキーの ON・OFF に連動してドアミラーの格納 / 復帰を行いたい場合、2番を ON に設定して下さい。

取り付け手順は「取り付け方法」A → C → E の順になります。

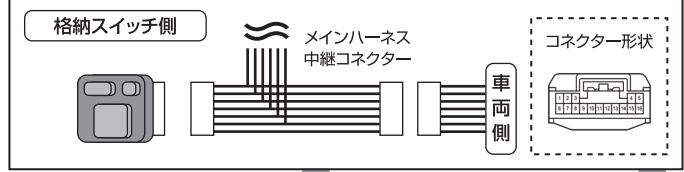


取り付け方法①

※指定された線を探す時は必ずサーキットテスターを使用し、検電器は使用しないでください。
※メインハーネスを差し込んだ状態で配線は行わないでください。
※誤った配線をされた場合、正常に作動しない又は、故障の原因となります。

A <メインハーネス中継コネクタ接続>

格納スイッチ裏のコネクタを引き抜き、間にメインハーネスの中継コネクタを接続します。



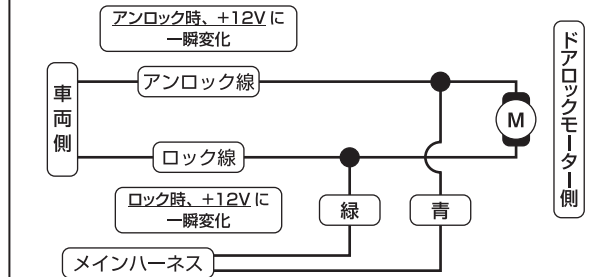
リモコンキー運動でご利用の場合は下記 B へ

B <ドアロック・アンロック配線接続>

運転席足元コネクタ内又は、運転席ドア内のドアロックモーターからドアをロック・アンロックした時に一瞬電圧変化する線をサーキットテスターでそれぞれ探します。

ロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に緑線を接続

アンロック時、+12V に一瞬電圧変化する線に青線を接続



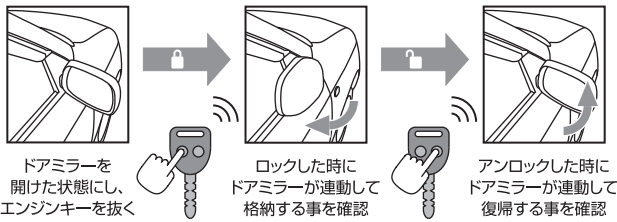
※●印部分は配線後、必ず絶縁処理を行ってください。

C <常時電源配線接続>

車両の常時電源線（エンジンキーがどの位置でも +12V の電圧が出力されていて電流量が大きい線）に赤線を接続します。

取り付け方法②

D <作動確認：リモコンキー運動でご利用の場合>



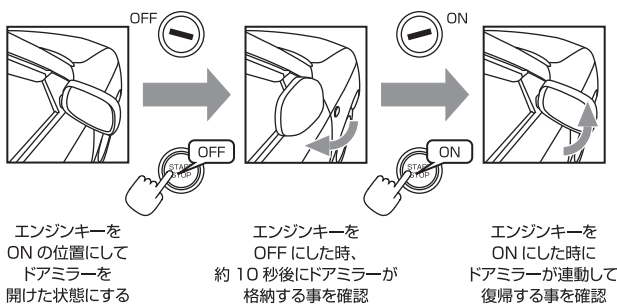
【アドバイス】

ドアミラーの格納をドアロック時に、復帰をエンジンキー ON 時に連動させたい場合

メインユニットのディップスイッチ 1 番を ON に設定する事で、ドアアンロック時には連動せず、格納スイッチが復帰位置であればエンジンキーの ON に連動してドアミラーが開きます。

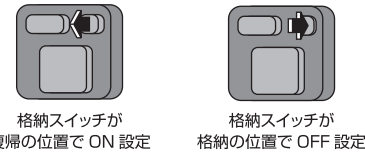


E <作動確認：エンジンキー運動でご利用の場合>



システム ON・OFF 設定

ON・OFF 設定を行う際はエンジンキー ON 時に行ってください。



ワンポイント
立体駐車場等、狭い場所に駐車される場合、格納スイッチを格納位置にする事でシステムが OFF になり次回乗車時にドアミラーが開くのを防ぎます。

※運転の際は必ず格納スイッチを復帰位置にしドアミラーを復帰させてから運転を行ってください。
※エンジンキー OFF 時に格納スイッチを操作されてもシステム ON・OFF 設定は反映されません。（アンロック時又は、エンジンキー ON 時にドアミラーが開く等）

トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記の点検・確認をお願い致します。

| 症状 | 原因 | 解決方法 |
|-----------------------------------|--|---|
| 格納スイッチでドアミラーが作動しない。 | 各コネクタが確実に差し込まれていますか？ 取り付け時に車両側又は格納スイッチ側コネクタを外したままになっていませんか？ 車両ヒューズが切れていませんか？ | 各コネクタを確認し確実に差し込んでください。 車両側コネクタの接続を確認してください。 ヒューズを確認してください。 |
| ドアミラーが運動しない。 | 配線が間違っている又は、断線していませんか？ ディップスイッチの設定変更をエンジンキーの OFF 位置以外で行っている又は、連動設定が間違っていますか？ 各コネクタが確実に差し込まれていますか？ システムが OFF になっていませんか？ エンジンキー OFF 時にシステム ON・OFF の設定を行っていませんか？ エンジンが始動していませんか？ | 配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください。 エンジンキーを OFF の位置に回してからディップスイッチの設定変更を行ってください。 各コネクタを確認し確実に差し込んでください。 システムを ON にしてください。 エンジンキー ON 時に設定を行ってください。 エンジンを止めてください。 |
| アンロック時にドアミラーが片側だけ開く又は、途中で止まってしまう。 | 車両の特性ではありませんか？ | アンロック時に連動する事は出来ませんが左記「取り付け方法②」内の【アドバイス】を参照し、設定を行ってください。 |
| ドアミラーが開閉を繰り返す。 | ロック・アンロックの配線が逆になっていませんか？ | 配線方法を参照し、各配線が正しく接続されているか確認してください。 |

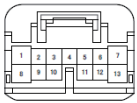
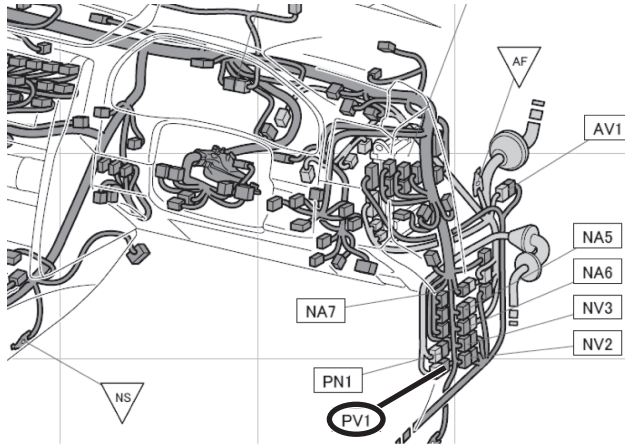
上記以外の症状が発生した場合は、お手数ですが弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

■ 製品仕様

電源電圧：DC+12V・マイナスアース
消費電流：約 2.5mA（待機時）
動作温度範囲：-40℃～+85℃

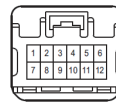
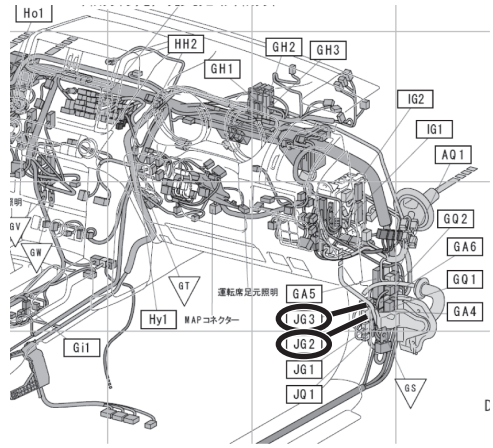
■ 上記動作確認が完了したら運転の差し支えの無い様にメインユニットを固定し、配線処理を行ってください。

マークX (GRX130系 : H21/11 ~ R1/12)

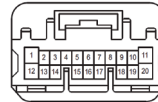


PV1 コネクタ (乳白色 13ピン)
 7番 緑 ロック
 13番 若葉 アンロック
 1番 赤 常時電源

ランドクルーザープラド (J150系 : H21/9 ~ H29/8)

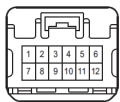
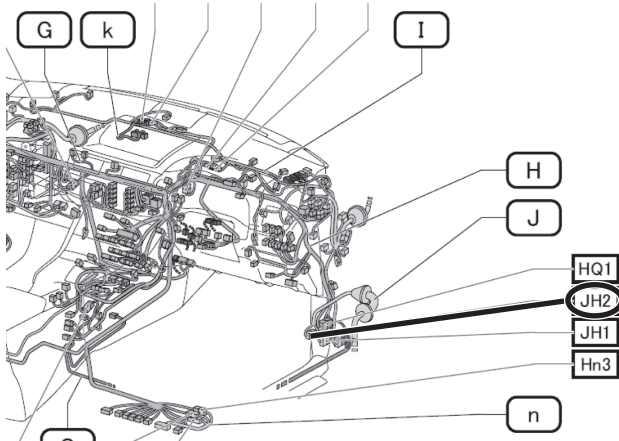


GJ3 コネクタ (黒色 12ピン)
 8番 青 ロック
 9番 緑 アンロック



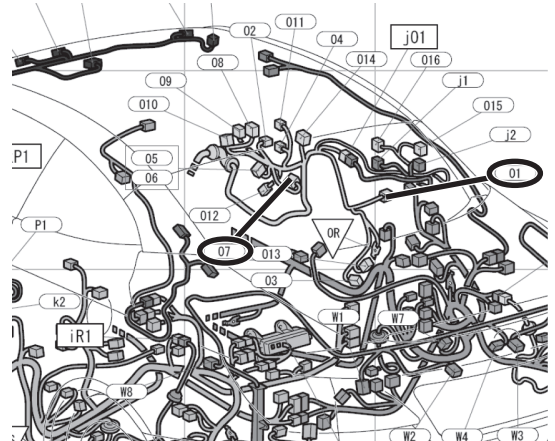
GJ2 コネクタ (乳白色 20ピン)
 1番 赤 常時電源

CT (ZWA10系 : H23/1 ~)



JH2 コネクタ (乳白色 12ピン)
 1番 赤 ロック
 2番 黒 アンロック
 8番 青 常時電源

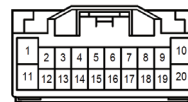
IS-C (GSE2#系 : H21/5 ~ H26/5)



※運転席ドア内で全ての記線が行えます。



O1 コネクタ (乳白色 10ピン)
 4番 紫 ロック
 1番 若葉 アンロック



O7 コネクタ (乳白色 20ピン)
 10番 青 常時電源